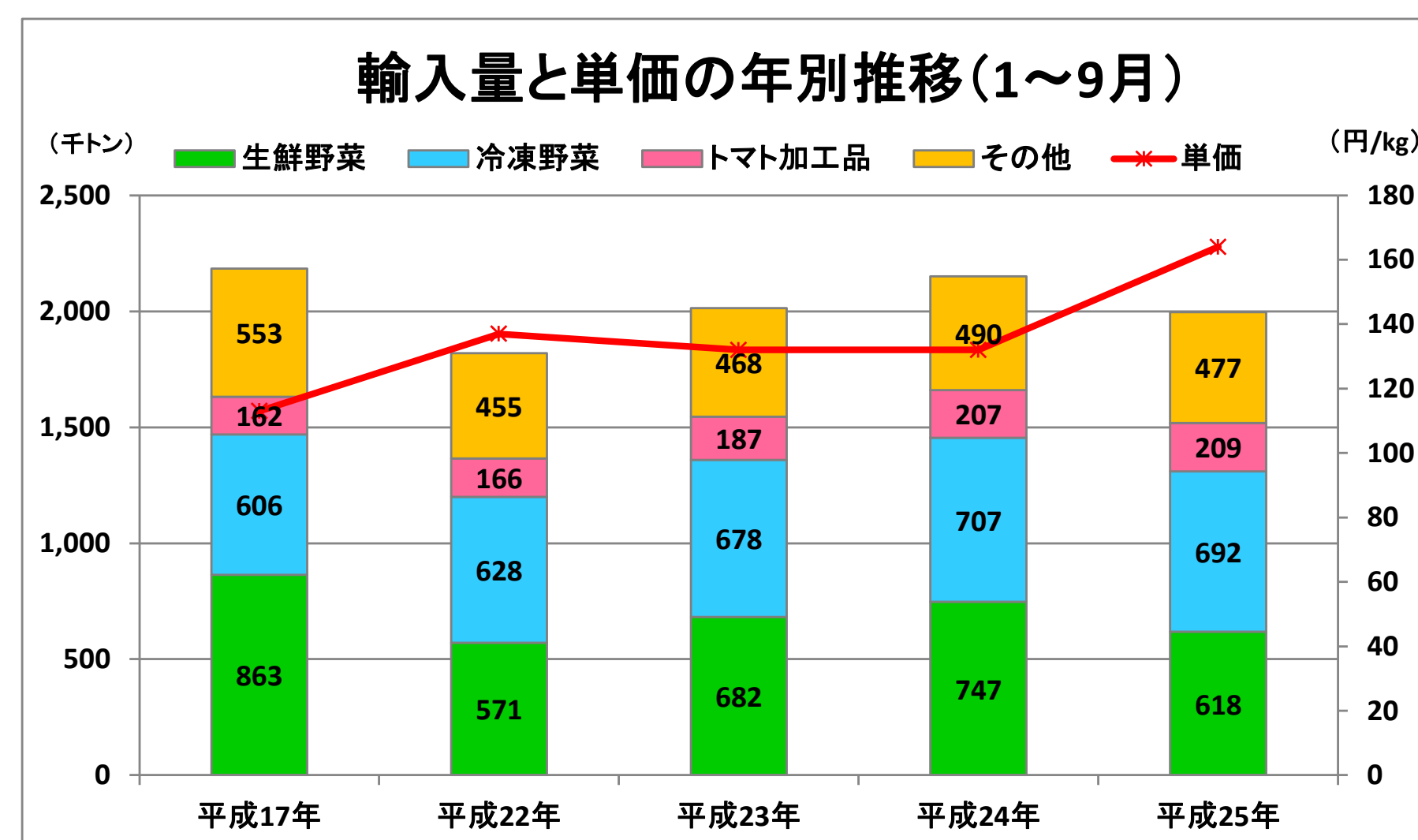
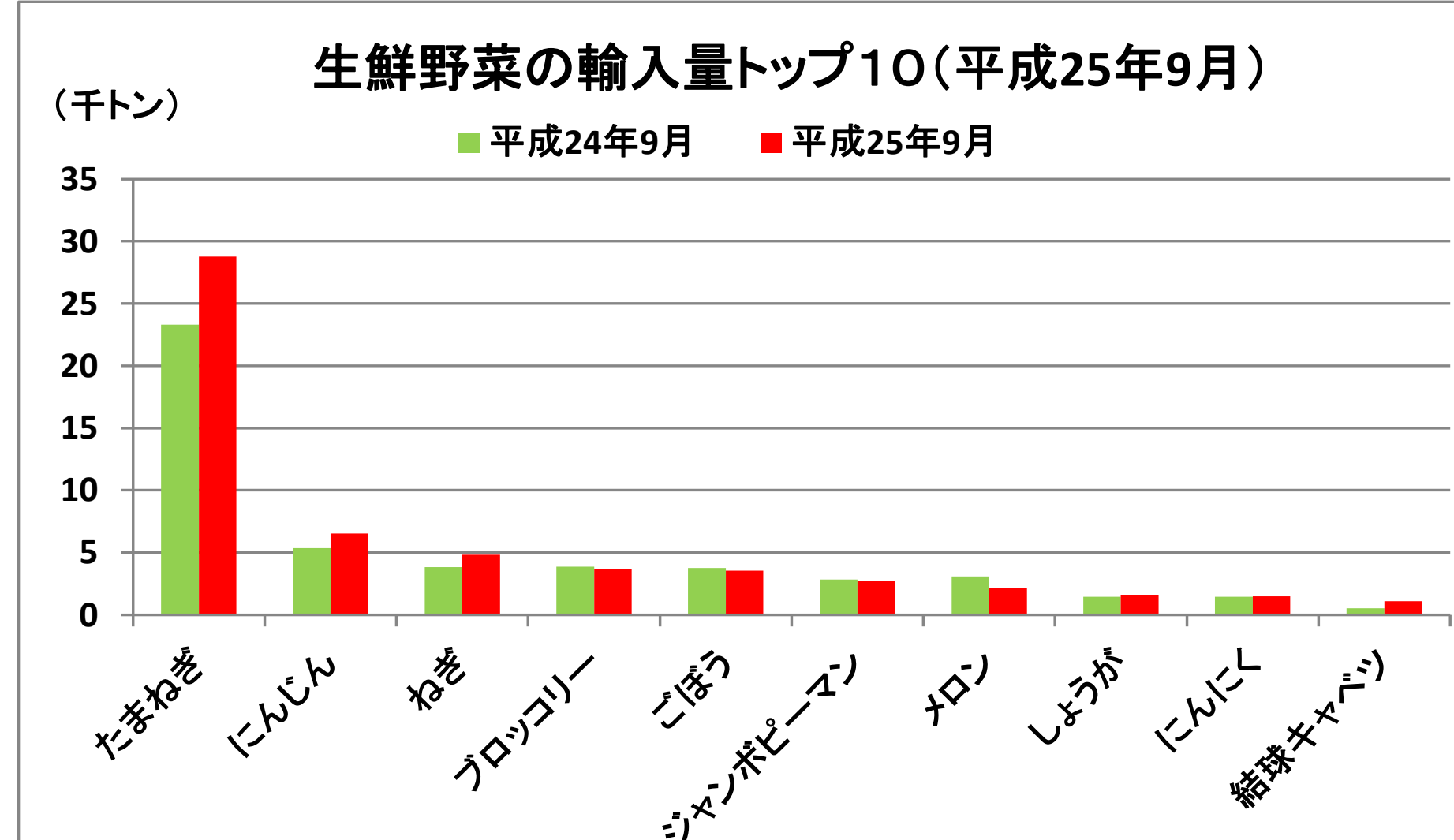


トピック — 平成25年1～9月の輸入動向 —

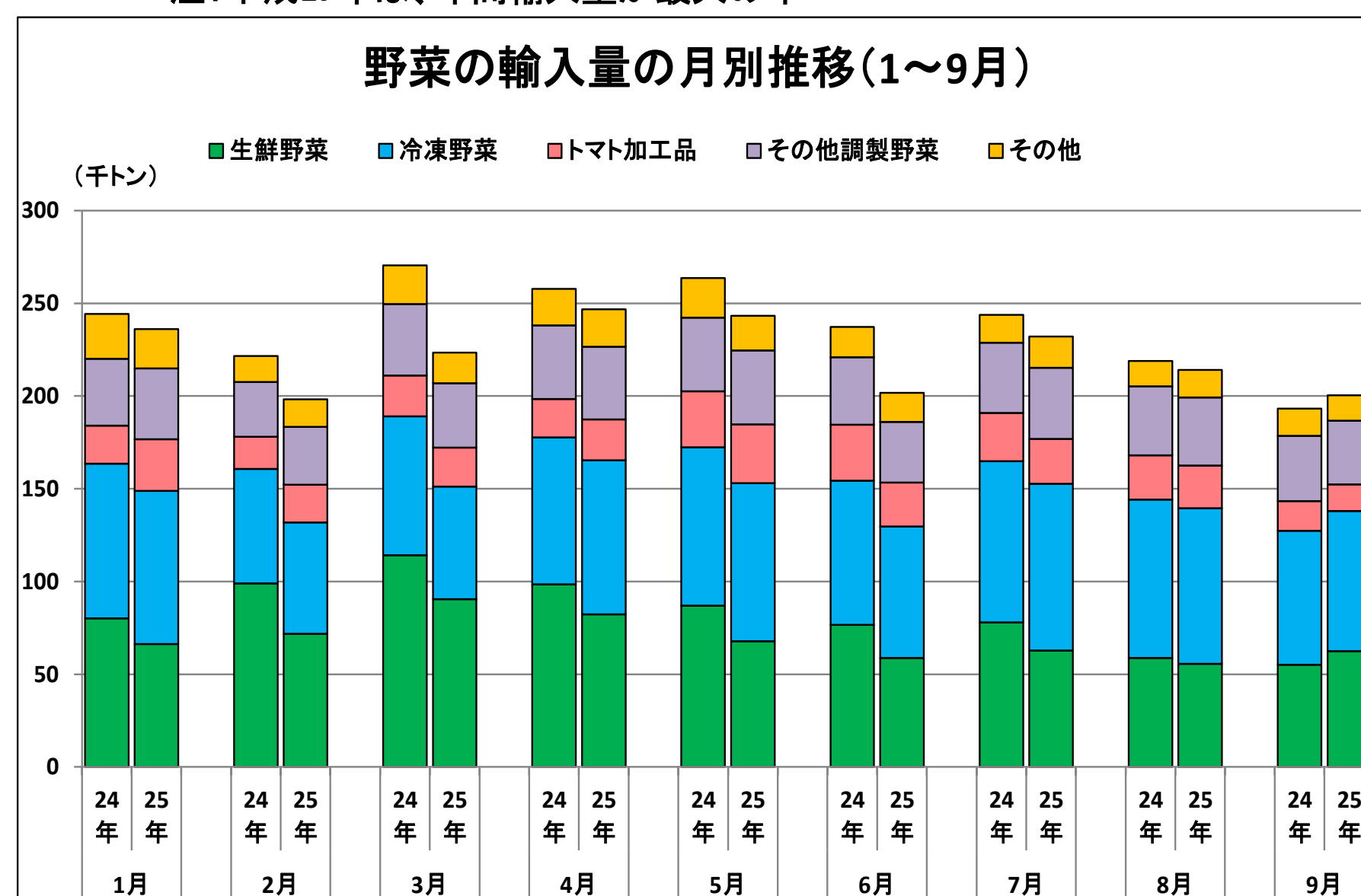
平成25年1～9月の野菜全体の輸入量は、前年同期比93%の200万トンとなった。
 このうち、9月の野菜全体の輸入量は、前年同月比104%の20万トンと月間輸入量が10か月ぶりに増加し、9月単月としては、過去最大の輸入量を記録した平成17年に次ぐ輸入量となった。これを類別で見ると、トマト加工品、その他調製野菜等が減少する中で、生鮮野菜が同113%、冷凍野菜が同105%と増加しており、生鮮野菜の増加が目立つ。
 生鮮野菜の月間輸入量が対前年同月を上回ったのは、13か月ぶりであり、特に生鮮野菜の輸入量の上位を占めるたまねぎが同123%、にんじんが同122%、ねぎが同127%と大幅に増加している。
 たまねぎは、1～4月は前年に収穫された北海道産が、5～8月は佐賀産等が供給の主力となるが、ともに豊作であったこと、及び中国産の輸入単価が高かったこと等から、1～8月の輸入量が前年を下回っていた。しかしながら、9月以降の主力産地の北海道産が生育時の少雨の影響を受けて、小玉傾向で少なめの出荷と見込まれている影響により、輸入量が増加しているとみられる。
 今後のたまねぎの輸入量は、北海道産の供給が少なめと見込まれることから、前年を上回って推移する可能性があり、今後の注視が必要である。



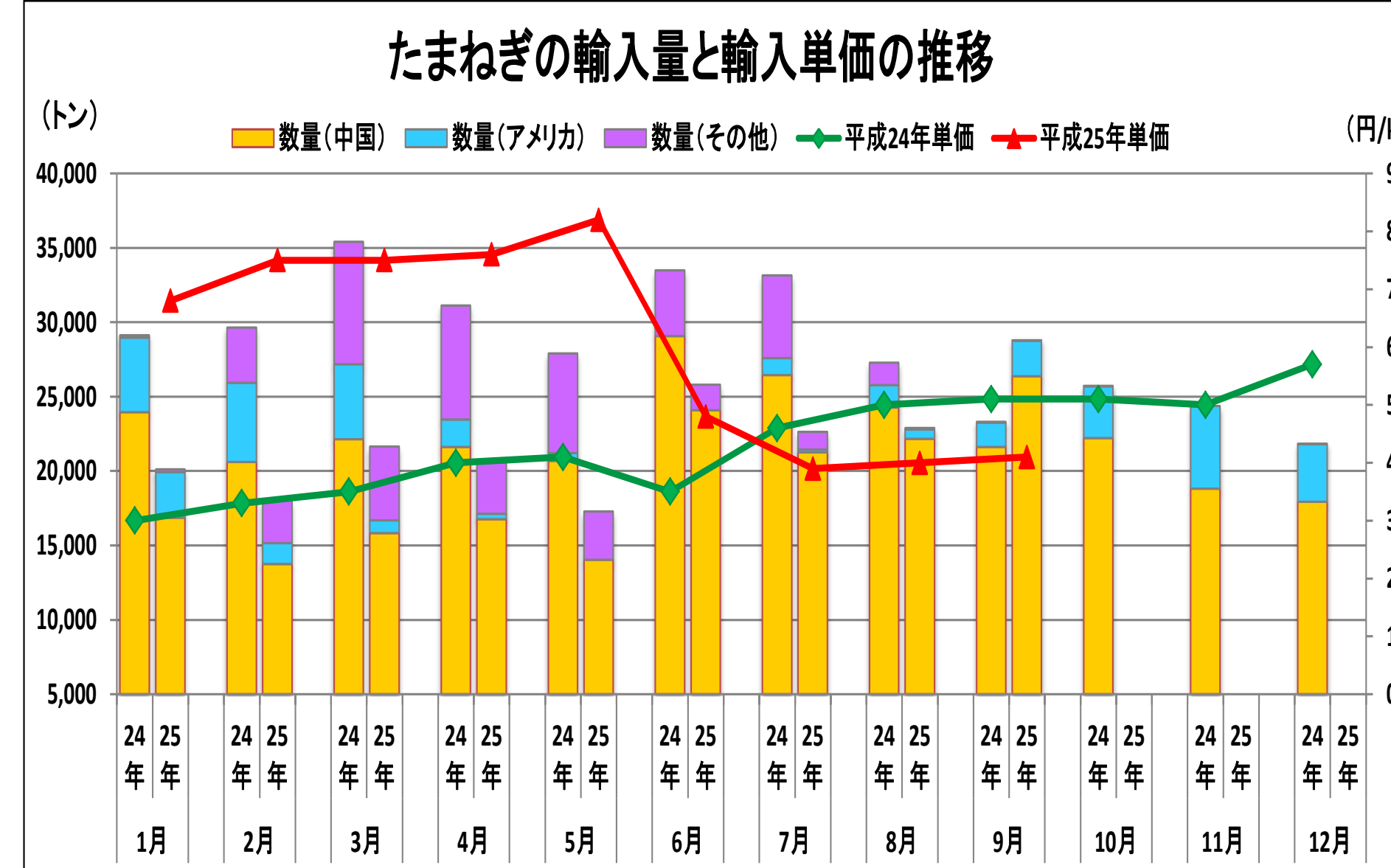
資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」
 注:平成17年は、年間輸入量が最大の年



資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」



資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」



資料:ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、斎藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。□

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。